

様式 5

« 本文書の対象となる方 »

2024年6月1日～2025年3月31日の間に当院に救急搬送され3日以内に他の病院に転院された方

| | |
|--|---|
| 課題名 | 当院で導入した救急患者連携搬送の実態について ～断らない救急の実現のために～ |
| 承認番号 | 2025-18 番 |
| 研究機関名 | 横浜市立みなと赤十字病院 |
| 研究責任者 | 所属 救急集中治療部 氏名 鈴木健人 |
| 研究期間 | (西暦) 2025年 10月 ~ (西暦) 2026年 3月 |
| 研究の意義・目的 | 当院は断らない救急を理念にあらゆる重症度の救急患者を受け入れていますが、そのためには病床確保が必要です。重症度に応じた判断の下、安定した患者さんに関しては後方病院への安全で円滑な転院も必要となります。当院は国の通知に基づき、2024年6月から救急患者連携搬送を開始しており、事前に協定を結んだ病院への早期転院に取り組んでおります。今回はその実績を検討し、より良い救急医療の実践に繋げたいと考えています。 |
| 研究の方法 (対象期間含む) | 2024年6月から2025年3月までに、当院に救急搬送され3日以内に他の病院に転院され、救急患者連携搬送料を算定した患者さんを抽出し、そのカルテから年齢、性別、病名、在院日数、転院先病院などの情報を収集し、その実績を検討します。 |
| 試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む) | この研究の対象となった患者さんの氏名などは、研究固有のIDに置き換え、特定の個人を識別できないように取り扱います。 この研究の結果については、学術論文や学会等で公表する予定です。 また、今後、院内院外の救急医療関連の委員会などでデータの一部を公表する可能性があります。 これらの場合においても、特定の個人を識別できないように取り扱います。 |
| 利用又は提供する 試料・情報の項目 | 年齢や性別などの患者背景情報、診断名、搬送日時と在院日数、転院先病院 |
| 試料・情報を 利用する者の範囲 | 研究責任者及び研究協力者 |
| 試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先) | 横浜市立みなと赤十字病院 救急集中治療部 鈴木健人 |
| 問い合わせ先 | 当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 救急集中治療部 氏名 鈴木健人 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101 |